

平成30年度 中伊豆中学校 後期校内研修 ～新学習指導要領の具現化に向けて～ 「主体的・対話的で深い学び」

【授業づくりの視点】
課題意識を持ち、主体的に学び合う
 ～目指す生徒の姿に向けた単元構想、手立てを考える～

前期の課題
 基礎学力の定着
 授業改善

後期の努力点

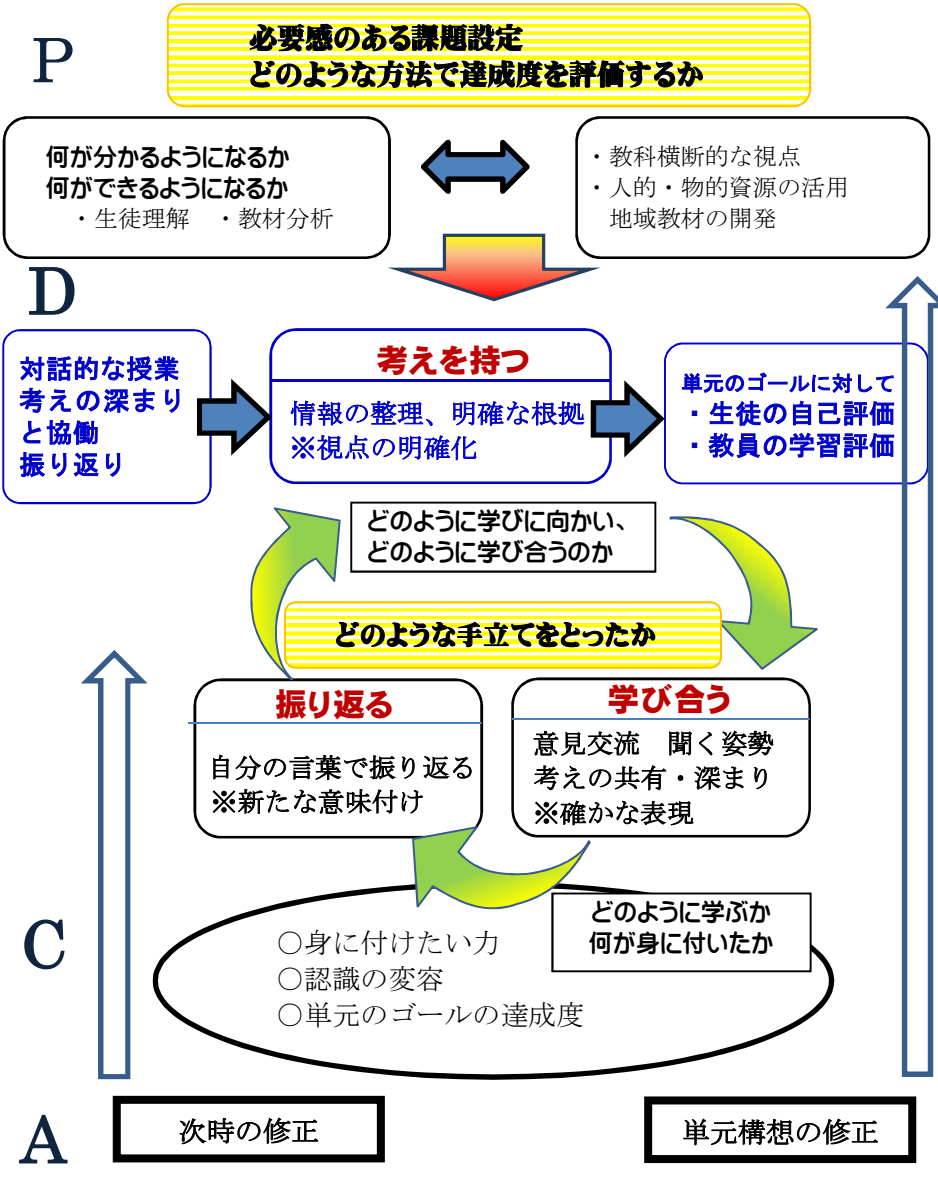
- 聞く活動**
- 姿勢を意識
「話は目で聞く」
 - 集中力の持続
学習環境の整備
- 伝える活動**
- 可視化を意識
ユニバーサルデザインの導入
 - 考えを深める
「比較・分類・関連」からの根拠
 - 対話的な授業
コーディネート
ペア↔グループ
- 書く活動の導入**
- 確かな表現
根拠の明確化
 - 豊かな表現
読書活動による語彙力、想像力
 - 肯定的な評価

【単元のゴールに向けて、目指す生徒の姿】

- 知識・技能を活用し、考える生徒
- 根拠を明確にし、考えを伝え合う生徒

教材研究・研修
の充実

主体的に学び合う単元構想



- 理解**
- 新学習指導要領の理論理解
(移行期の学び)
 - 目標
学習内容の理解
 - 道徳科先行実施
- 作成**
- 必要感のある課題提示の工夫
 - 系統的、横断的な視点で授業作り
 - 本時の目標(付けたい力)を生徒の具体的な姿で明確にする。
 - 本時の目標(付けたい力)を確実に身に付けさせるための手立てを明確にする。
 - 問いの生まれる授業と多様な学び合い

生徒の学習状況や評価から単元を構想し、修正を加え次時へ